令和８年度　第１回　天王寺区区政会議

日　時：令和８年７月３０日（木）

午後７時００分～午後８時４７分

場　所：天王寺区役所　３階　講堂

出席者

（区政会議委員）

大宗委員、岡内委員、酒井委員、樋口委員、山田委員、奥野委員、橋本委員、服部委員、平嶋委員、堀井委員、髙橋委員、竹田委員、東川委員、桝井委員、森谷委員、米川委員、菊山委員、中山委員、福崎委員、松川委員、吉井委員

出席２１人／定数３１人

（市会議員）

金子議員、須藤議員

（天王寺区役所）

末村区長、松永副区長、原田企画総務課長、中事業戦略担当課長、

花本企画総務課長代理、武部市民協働課長、

前田市民協働課地域活動支援担当課長代理、

北島市民協働課安全まちづくり担当課長代理、

吉岡教育文化担当課長、近藤市民協働課教育文化担当課長代理、

田中保健福祉課福祉サービス担当課長、森本保健福祉課福祉サービス担当課長代理、

住田保健福祉課子育て支援課長、山岡保健福祉課子育て支援担当課長代理、

高橋保健・生活支援担当課長、辻野保健福祉課保健・生活支援担当課長代理、

寺戸窓口サービス担当課長、庄司野窓口サービス課保険年金担当課長代理

齋藤企画総務課担当係長、福井企画総務課担当係長、工藤係員

〇中事業戦略担当課長

ただいまより令和８年度第１回天王寺区区政会議を開催させていただきます。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

私は、天王寺区役所事業戦略担当課長の中でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、先日お送りしました資料について、本日お持ちでない方がいらっしゃいましたらお申し出ください。手を挙げていただきましたら係の者がお渡しにまいります。いらっしゃいませんでしょうか。

それでは議題に入る前に、本日ご出席の委員の皆様をご紹介いたします。本日ご出席の委員の皆様は、机の上に置いてあります配席図のとおりでございます。現在の区政会議委員の皆様は、令和７年１０月１日から令和９年９月３０日を任期として、地域団体のご代表の方２３名、公募委員の方８名、合わせて３１名の方々で構成されております。

委員全員の名簿は、「資料１　区政会議委員名簿（班別）」のとおりでございます。個別のご紹介は割愛させていただきます。

なお本日、子育て・教育班の佐藤委員、吉田委員、地域社会づくり班の石井委員、長谷川委員は欠席の旨、ご連絡をいただいております。

また、地域福祉・健康班の江畑委員、津田委員、中野委員、情報発信班の藤原委員、舟本委員、子育て・教育班の宮嵜委員におかれましては、まだお見えになっていない状況です。

また、区政会議にはお忙しい中、金子議員、須藤議員にもご出席をいただいております。ありがとうございます。本日も議題の最後にご助言・ご意見をいただきますよ

う、お願い申し上げます。

続きまして、ここにおります区役所の職員のうち、本年度４月１日付で異動がありました者についてご報告させていただきます。

企画総務課長、原田でございます。

○原田企画総務課長

原田です。よろしくお願いいたします。

○中事業戦略担当課長

教育文化担当課長、吉岡でございます。

○吉岡教育文化担当課長

吉岡でございます。よろしくお願いいたします。

○中事業戦略担当課長

企画総務課長代理、花本でございます。

○花本企画総務課長代理

花本です。よろしくお願いします。

○中事業戦略担当課長

保健福祉課子育て支援担当課長代理、山岡でございます。

○山岡保健福祉課子育て支援担当課長代理

山岡でございます。どうぞよろしくお願いします。

○中事業戦略担当課長

窓口サービス課保険年金担当課長代理、庄司野でございます。

○庄司野窓口サービス課保険年金担当課長代理

庄司野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○中事業戦略担当課長

本日は、議事録の作成のため、事務局で会議の様子を録音しております。また、全市的な取組として、多くの方に会議の模様をご覧いただけるように、本日の区政会議

は、会議の内容を録画の上、後日インターネット配信を行いますので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。

本日の会議は、傍聴の方がお見えです。本会議は分科会形式で進行します。各班での審議の際、傍聴の方は、各会議室を回っていただいて差し支えありませんが、傍聴要領は遵守いただきますようお願いいたします。

なお、本日の区政会議の模様を、広報紙等に掲載するため、事務局が会議中に写真を撮影させていただきます。

職員からの説明は「端的に簡潔に」を心がけ、委員の皆様にご意見をいただく時間をできるだけ設けたいと考えております。また、事前にご意見・ご質問もいただいております。私どもの回答・対応とあわせて、より議論を深める材料としていただければ幸いでございます。

それでは次第に戻らせていただきます。

まず、末村区長よりご挨拶申し上げます。

〇末村区長

皆様こんばんは。区長の末村です。皆様方には、日頃から市政、区政ともに大変な力をお借りいたしておりますことに御礼を申し上げます。また、今日もお昼間から本当に酷暑日と言われるような中、また様々なご予定がある中、ご出席をいただきまして本当に御礼を申し上げます。

今年度１度目の区政会議となります。議題は２つございまして、１つ目が「令和７年度区運営方針の実績・評価および課題」、もう１点「天王寺区将来ビジョンの改定について」こちらが、数年に一度の改訂になるということで、こちらが２件目ということになります。

私のほうから全体会の場で議題についてご説明をさせていただいた後、班に分かれてご議論をいただくという流れになります。また、先ほど中課長のほうからも申しましたけれども、事前に皆様からいただきましたご意見・ご質問へのご回答、こちらは

それぞれの班に分かれた後でご説明をさせていただきます。

限られた時間になりますけれども、どうぞ忌憚なくご発言、ご助言のほどよろしくお願いを申し上げます。

去年は１００周年、それから大阪・関西万博と充実の年を過ごさせていただきましたけれど、改めてどれだけ多くの皆様方が、この天王寺区を愛していただき育んできてくださったのかということを痛感する場面がたくさんございました。そう思うと、やっぱりこれからの１０１年、１０２年もしっかり充実したものに１年１年を積み重ねていく責任があるなというふうに思っておりますので、本日もどうぞよろしくお願いを申し上げます。簡単ですけれども、日頃の感謝と合わせましてご挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

〇中事業戦略担当課長

それでは、竹田議長からご挨拶をお願いいたします。

〇竹田議長

本日の議長を務めさせていただきます天王寺区地域振興会の竹田です。よろしくお願いします。

今日は令和８年度の第１回の天王寺区区政会議ということで、皆さんの忌憚のない活発なご意見・ご議論よろしくお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いします。

〇中事業戦略担当課長

竹田議長、ありがとうございました。

それでは続きまして、服部副議長からご挨拶をお願いいたします。

〇服部副議長

こんばんは。副議長を務めさせていただきます服部です。

本日はお忙しい中、会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。時

間の都合もありますので簡潔に。本日も、天王寺区のよりよい未来について、皆様の活発な議論をいただきますよう期待しております。

最後まで、どうぞよろしくお願いいたします。

〇中事業戦略担当課長

服部副議長、ありがとうございました。

それでは、ここからの議事進行につきましては、服部副議長にお願いしたいと思います。

服部副議長、どうぞよろしくお願いいたします。

〇服部副議長

それでは、これより皆様のご協力の下、会議が有意義なものとなりますよう進めてまいります。よろしくお願いいたします。

初めに、事業戦略担当課長より本日の流れを説明いたします。

〇中事業戦略担当課長

では、私のほうからまず、区政会議についてご説明させていただきます。お手元にありますラミネートをした資料を２種類置いてございますが、そのうち区政会議についてをご覧ください。区政会議の設置根拠やどのようなことをする会議なのかをご紹介する資料となっております。真ん中の３番、「委員の意見を求める事項」にどのようなことについて委員の皆様のご意見をお伺いするのか、ということを書いてございまして、区の総合的な計画に関する事項として、区将来ビジョン、区の基礎自治に関する施策のうち、主要なものとして区運営方針といったことに関して、ご意見をいただく場となっております。

区政会議におきましては、年度を通じて区政委員の皆様にご協力いただくことは次のとおりです。

今回の第１回区政会議では、例年、前年度に区役所が進めた事業について評価をいただき、さらに今年度の課題について、ご意見をいただく場としております。また、

１２月頃に予定しております第２回区政会議では、今年度の取組から、次年度に区役所が行うべき事業について、ご意見をいただきながら、次年度の区の運営方針等を固めていくという流れになっております。

例年の流れに加えまして、今年度は、現行の「天王寺区将来ビジョン」の最終年度となっており、更新の時期を迎えております。現在、改訂版の策定作業を進めており、区政委員の皆様からご意見をいただきながら、新たな「区将来ビジョン」を取りまとめてまいりたいと考えております。

本日は、「令和７年度天王寺区運営方針の実績・評価及び課題」及び「天王寺区将来ビジョンの改定について」の２つの議題を取り扱いいたします。

それでは本日の議題について、まず末村区長より説明の後、審議に移ります。審議は、分科会形式により、班ごとでお願いしております。班ごとに議論・ご意見いただきたいテーマ・経営課題を設定しておりますので、その課題を中心に、８時２０分頃まで各班で議論し、その後各班で出た意見などを、全体で共有します。司会・進行は、各施策・事業を所管する課長・課長代理が担当いたします。議題は、８時４０分頃に終了し、続いて区長から一言申し上げます。

また、締めに当たって、金子議員、須藤議員より、ご助言、ご意見をいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いします。

流れの説明は以上でございます。

〇服部副議長

それでは、末村区長より、資料２「令和７年度天王寺区運営方針の実績・評価及び課題について」、それから資料３及び資料４「天王寺区将来ビジョン（２０２７～２０３１）（素案）」について説明をお願いいたします。

それでは、末村区長よろしくお願いいたします。

〇末村区長

服部副議長、ご進行ありがとうございます。

皆様方のお手元にあります資料の横長の肩に資料２と書かれているもの、こちらについてご説明をさせていただきます。

３ページをお開き願います。前年度令和７年度の区政方針につきましては、大きな柱を５つ立てています。この柱はどこに基づいているものかと申しますと、２０２２年４月に策定した天王寺区将来ビジョンに基づくものです。

５つの柱について申し上げます。１つ目「みんなの「思い」が区政に反映されているまち」、２つ目「子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べるまち」、３つ目「だれもが安全で安心していきいきと暮らし続けられるまち」、４つ目「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち」、５つ目「つながりあい、支え合い、助け合うまち」。これらの５つの柱に基づいて策定をされています。

次の４ページ目に移ります。４ページ目では、自己評価結果の総括のうち、運営方針全体についての評価のお話をさせていただきます。次の５ページ目で、今後の方針についてをご説明いたします。

では、「運営方針全体の評価」について申し上げます。

経営課題１「子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べる環境づくり」、こちらについての評価でございますが、子育て世帯の不安に対し、情報提供と専門知識を持った職員による相談機会等を提供しておりますが、継続した実施が必要との認識にございます。２点目、区の子育て支援の周知を積極的に行うとともに、必要な支援を関係機関につなげる取組も継続する必要があるとの認識にございます。３点目、外国につながる児童・生徒等の急増を受け、区独自の外国語サポーター派遣を継続しておりますけれども、多様化・複雑化するニーズへの対応は依然喫緊の課題と認識しております。

次に経営課題２にまいります。「気にかける・つながる・支えあう地域福祉」、地域コーディネーターの配置により、福祉の情報提供や相談対応等を行う場を地域につくることで見守り体制の強化に努めておりますが、今後も地域の高齢者、障がい者の

皆様の孤立化を防ぐ取組の推進、周知が必要との認識にございます。

経営課題３に移ります。「大きな公共を担う活力ある地域社会づくりと地域の力を結集した「防災力」向上の取組」、幅広い世代の地域活動の広がりが十分とは言い難く、引き続き区民の皆様の地域活動へのご関心や関与を高めるための支援が必要との認識にございます。区民の皆様の災害への備え（自助）や地域の防災対応力（共助）の向上を目指して、引き続き「防災力」の向上を図っていく必要があるとの認識にございます。

経営課題４に移ります。「歴史的・文化的資産を活かした積極的な魅力発信による地域の活性化」、大阪･関西万博での国際交流プログラムへの参加等により、多くの方に区の魅力を発信いたしました。また、区制１００周年関連事業を推進し、多世代が地域の魅力に改めて気づく機会を創出させていただきました。

では、５ページ目に移ります。同じ経営課題１、２、３、４の順番で「今後の方針」についてお話しをさせていただきます。タイトルは割愛させていただきます。

経営課題の１については、専門相談員等による情報提供と相談はもとより、発達が気になる子どもと保護者対象の学習や交流の場の提供、不登校児童への家庭訪問、外国人児童等へのコミュニケーション支援など、子育てに特に不安のあるご家庭への支援を充実してまいります。

経営課題の２、高齢者の皆様の見守り支援事業の認知度向上、同意を得られる方の増加を目指して、見守り相談室と連携をし、積極的な周知・広報、不同意理由を把握・分析し取組手法の検討をしてまいります。また、効率的な事業推進に向け、各地域の課題の整理を行ってまいります。

経営課題の３、広報紙やＳＮＳなど様々な手法を活用して地域活動の情報を発信いたします。とりわけ、どなたにとっても身近なテーマである防災･防犯をきっかけに、地域におけるつながりづくりを促進してまいります。マンションに特化した防災対策の推進や区民の皆様の自助努力向上の啓発､地域の自主防災組織の育成支援など地域･

企業などと連携して共助力を強化し、地域全体の防災力向上を図ります。個別避難計画の作成や防災訓練を通じて、緊急時に助け合える地域のつながりづくりを進め、共助を促進してまいります。

経営課題の４、地域団体や学校園と連携を深め、歴史と文化・居住地としての魅力など、様々な側面からまちの魅力を広く発信いたします。また、「伝わる広報」を強化してまいります。

以上が、令和７年度運営方針の自己評価結果の総括における評価、それから今後の方針についてでございます。

２点目の説明に移らせていただきます。

資料３になります。お手元には「天王寺区将来ビジョン（２０２７～２０３１）（素案）【概要版】」を置きご覧いただければと思います。加えまして、縦長の資料４でございますけれども、本体も皆様方のお手元に配らせていただいております。

「天王寺区将来ビジョン」とは、区が目指すべき将来像と、その将来像の実現に向けた施策展開の方向性などを取りまとめ、区民の皆様方に明らかにするものです。５年間の計画となっておりまして、２０１３年に策定して以来、２０１７年、２０２２年と更新してまいりました。現行の将来ビジョンの対象期間が今年度までとなっておりますので、更新の時期を迎えているというわけでございます。

現在、来年度からの新たな将来ビジョンについて策定作業を進めておりまして、本日はその素案を資料４のとおりお示ししているところでございます。

新たな将来ビジョンの策定に当たりましては、天王寺区の地域特性や人口推移などのデータを踏まえ、これまでの将来ビジョンに掲げておりました「５つの柱」から骨格を組みなおし、「３つの柱」を将来像といたしまして、その実現に向けて取り組んでいくことについてお示ししております。

具体的には「歴史と文化のまちで、子どもが健やかに育ち、未来へ学び続けられるまち」、２点目「福祉と健康の推進にみんなで取り組み、だれもがいきいきと暮らせる

まち」、３点目「だれもが安全で安心して暮らし続けられるまち」この３つの将来像を柱といたしまして、施策展開の方向性をお示ししております。

新たな将来ビジョンの対象期間は、来年度２０２７年度から２０３１年度までの５年間としております。本日、委員の皆様方にいただきますご意見・ご助言、区役所内でも今後また検討を深め、「区の将来ビジョン（案）」を取りまとめます。取りまとめた「案」について、９月を目指してパブリックコメントを実施し、広くご意見をいただいた上で、今年度中に新たな将来ビジョンを策定したいと考えているところでございます。

議題についての説明は以上でございます。

多くの議題になります。また短い時間でございますけれども、皆様方からのご意見、忌憚なく賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

〇服部副議長

ありがとうございます。

それでは、これからは班ごとの審議に移ります。事業戦略担当課長から案内をお願いします。

〇中事業戦略担当課長

ただいまより、班ごとの会議室のご案内をいたします。

子育て・教育班は５階市民活動団体交流スペースへ、地域社会づくり班は５０２会議室へ、情報発信班は３０１会議室へ、地域福祉・健康班は、このままこの講堂にお残りください。係の者がご案内いたします。

金子議員、須藤議員につきましては、いずれかの班、または、順次各班を回っていただき、意見交換の様子をご覧ください。

各班で議論いただいた後、８時２０分にこちらの３階講堂へお戻りください。

それでは、係の者が皆さんを各会議室まで案内します。担当の方は誘導をお願いし

ます。

（分科会討議）

〇服部副議長

それでは、各班からの意見等について、ご報告をお願いします。

〇子育て・教育班記録係（花本課長代理）

そしたら子育て・教育班からご報告させていただきます。

学校狭隘化に関しまして、小学校や中学校の教室がどんどん足りなくなっており、これからどうなっていくのか不安に思っているというお声をいただきました。公立校は来る者も拒めないというのもありますし、教育委員会の話になるかとは思うので、区としては難しいと思うがどうにか対応していただきたいというご意見がありました。

次にコミュニティに関しまして、コミュニティの部分で高校生と子どもとの接点が少ないように感じると。ジュニアクラブなどがあるとは聞いていますが、ほかにも休遊地や古民家などを使って外国の子たちも含めて交流や勉強ができる場所があればいいなという意見をいただきました。

外国語サポーターのような活躍の場を提供いただけたらというご意見もいただきました。

中高生が防災の場などで活躍できるようになればいいという意見もいただきました。

次に不登校に関しまして、専門の相談員が配置されて、これまで来られなかった子が少しずつ短時間でも来られるようになっているというところはありますが、ただやはりこちらでも教室が足りないというのは問題になっています。不登校がちの子を持つ親御さんの知り合いがいまして、学校に行ってほしいと思うけど、学校側からすると無理はさせないでほしいというような対応がされる場合があります。勉強は家でも

できますけど、交流は学校でしかできないというところもありますので、できるだけ対応をしていただけたらという意見がありました。

コロナ禍で不登校が増えていくのは理解できるが、未だに増えているというのは、何かしら原因があるのではないかというご意見をいただきました。

外国人に関しまして、生活面でのルールなど、外国との違いを教えていただけるような機会があればいいなという意見もいただきました。少子高齢化の時代に天王寺区は増えているということで、評価もされている一方で、１割は外国人というところはありますので、外国語ごとのそれぞれの拠点校などが設置されれば教育の機会なども設けられるのでいいのではないかという意見をいただきました。

以上です。

〇服部副議長

ありがとうございます。続いて、地域福祉・健康班。

〇地域福祉・健康班記録係（工藤係員）

地域福祉健康班です。報告します。

まず、がん検診の受診勧奨チラシにつきまして、全体的にご好評いただきました。特に社会保険で受診していた頃よりも安いという感想をお持ちの方が、何名かいらっしゃいました。

ただ一方で、仕事をしている現役世代の方については受診がなかなかできないのではないかというご意見がございました。今後の広報の仕方につきましては、様々な会議の場で案内をしたり、町会で回覧したり、あとは対象者が多い場所で広報していくなどすることで、さらに受診数が上がるのではないかとのご意見をいただきました。また、セルフチェックができるようにしたり、４０代になったあなたはこの検診の対象ですというようにターゲット層に受診対象になったことが分かるように広報してみてはどうかというご意見もございました。

続きまして、見守り事業について、天王寺区全体的に同意率が上がっておりまして、

それについては独居高齢者にとって住みやすいまちになっていると思う。独居高齢者が今後当たり前になっていくので、引き続き、見守りの推進をしてほしいというご意見がございました。

また、コミュニケーションの方法について、手話なども対応していくとよいというご意見がありました。

以上です。

〇服部副議長

ありがとうございます。続きまして、地域社会づくり班。

〇地域社会づくり班記録係（齋藤係長）

では、地域社会づくり班で出たご意見の内容を発表させていただきます。

今回、地域社会づくり班では、マンション防災の推進ということで、災害が起こった時に、自助の取組、共助の取組はすごく大事ですけれども、とりわけ天王寺区はマンションにお住まいの方がすごく多いのでマンション防災を推進していると。マンションと地域とのつながりづくりが防災力の向上に大事ということで、どうしたらマンションと地域とのつながりづくりを進めることができるか、ということを委員の皆様にご意見をいただきました。その中で、いい事例として、３つほどご意見いただきました。例えば、マンションの完成前からデベロッパーなどに働きかけ、管理組合に事前にお声かけをするなど、町会の加入を促進するという取組をされていると。そして町会加入時のインセンティブとして､町会費を２割引きにして加入を促進されていて、かなりの実績として加入いただいているということをお聞きしました。一方、マンション全体での加入であるため、個人個人の方におかれては町会加入の認識が薄い場合もあるけれど、やっぱり事前に働きかけることで、マンション全体が町会に加入していただけた、というよい事例を紹介していただきました。

次は、地域の防災訓練を実施する際に、堅苦しい内容ばかりではなくて子どもさんに楽しんでいただけるような、屋台とかスタンプラリーとかのゲームを行うことで、

子どもさんがたくさん集まってくださる、子どもさんが集まってくださるということは親御さんも一緒に来ていただいて、つながりができるということで、そういったこともいい事例としてご意見をいただきました。

あとひとつは、そういった防災の訓練を中学校区の３連合の合同で実施をしていけたらいいのではないかということで、今計画をされているとお伺いしました。中学校区複数の連合で防災訓練を合同で実施することで、より広い地域のつながりができていっていいのではないか、ということを計画されているというご意見をいただきました。

以上です。

〇服部副議長

ありがとうございます。最後になりますけれども、情報発信班。

〇情報発信班記録係（福井係長）

情報発信班から出たご意見を報告させていただきます。

まず広報紙についてですが、広報紙は特に高齢層の読者が多いというところで、せっかく天王寺区内に歴史的な資産がたくさんあるので、そういう歴史的な資産を紹介するような定例コラムなどを設ければ、より広報紙に関心を持ってもらいやすいのではないかというご意見をいただきました。

合わせて区の公式ＳＮＳでの発信も強化しているという状況なので、区民まつりであったりとか、人が集まる機会に合わせてアカウントの存在自体を周知すれば、より効果的ではないかというご意見をいただきました。

区制１００周年や万博に関してもご意見をいただきまして、去年、区制１００周年を記念したマンホールの製作をしたんですが、それに加えて万博レガシーとしてミャクミャクのイラストが入ったマンホールが設置されているエリアもありまして、目に触れる機会も多いので、そういった取組は、万博とか１００周年を身近に思い出せるいい取組ではないかというご意見をいただきました。

最後に、万博の関係で、せっかく万博に出店した店舗であったりとか、メニューを活用して学校給食の献立として提供できれば、万博レガシーとしてより記憶に残るんではないかというご意見をいただきました。

以上です。

〇服部副議長

ありがとうございます。議題は以上となります。最後までご協力ありがとうございました。

ここで区役所に進行をお返しいたします。

〇中事業戦略担当課長

竹田議長、服部副議長、どうもありがとうございました。

それでは、全体会議を通しまして、末村区長から一言をお願いいたします。

〇末村区長

皆様、本当に熱心にご議論いただきましてありがとうございました。いつも思うんですけれども、部会になって少し顔が見える規模でのお話になりました時に、最後のほうで皆様が、ご発言くださった方にこんなふうにしてみてはどうっていうご提案とか、ご参加者の間同士で、また次に向けたご協力のお話などが出てきているっていうのをいつもとても嬉しく思っています。区行政に対して、ご助言を賜っているのと合わせて、今日ここにこうやって同じ時を同じ場所で過ごさせていただいている方々同士の交流がまた進むことで、天王寺がまた豊かな場所になってくれるようにということも、何かその確信を持たせていただいています。

それから全ての部会、子育て・教育班のほうでご議論をいただいた、特に外国籍の生徒さんと生徒数の急増ですね。この２つについては区行政のほうとしても、本当に頭を悩ませ、またもちろん区役所だけではとても取り組めることではございませんので、大阪市教育委員会のほうとしっかり区長会議の部会及び教育委員会の次長職っていう立場も併せて、強化を取り組んでいるところです。１０００人規模の学校が、小

学校で天王寺区内２校、私の在任中でもなりましたので、１つ選択制ですね。選択の幅が広いというのは大変いいことなんですけれども、やはりお見えになった学校が教室もないということでは教育そのものが滞ってしまうということから、それらが選択制を少し絞るというようなことで、その２つの学校を何とか維持すると、守るというようなことも取り組んだりさせていただいています。

それから、外国籍の生徒さんの部分については、幼稚園などもたくさんございますので、そちらにも教育委員会が準備しているもの以外に、区役所のほうで少しご支援のほうをさせていただいているというところです。

同じ問題意識を一にしながら少しでも安心して取り組んでいただけるように尽力していきたいというふうに思っています。

合わせて地域社会づくり班のほうでお話をいただいたマンション防災。こちらについても全く認識を一にしているところでございまして、実は広報紙９月号に、初めてなんですが、大阪市全体でマンションご在住の方っていうのは、４分の３、７５％が平均値です。天王寺区はそれを１割超える８７％になっていますので、ここは天王寺区も一番めを走らせていただこうということで、マンション防災、マンションの中に自主防災組織をしっかりつくってほしいと、その具体的な方法論についてまで、ちょっと突っ込みすぎたかなとどこかでお叱りをいただくかもしれませんが、それも込みで担当課の皆様とも本当に一字一句をどうしようかと言いながら、準備をしているところです。またご覧いただきましたものに、こうしてみてはというご提案とかご助言もいただきたいと思っていますので、広報紙９月号をぜひご覧いただき、次につなげていきたいと思っています。

あわせて、中学校区複数の連合で取組を進めていただけているというお話、今始まったところとはいうものの、始まることができたということが、やっぱり長年、
取り組んでこられた諸先輩方の取組を継いでいただいているものだというふうに思って、本当にありがたくも思いますし、区行政もできる限りの応援ができるようにと思

ったところでございます。

情報発信班についても、本当にマンホールについては、最後に飛び込みで何とか実現したということがあったので、見ていただけていることがすごくありがたく思いました。

今日も長い時間、皆様にご意見いただいたおかげで一歩ずつ前に進んでいることというのを部会でもお伝えさせていただいたと思います。一つ一つ形にしていきたいと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願いをいたします。

長くなりましたが、以上です。

○中事業戦略担当課長

それでは最後になりますが……。

○平嶋委員

ちょっと、おかしいやろ。この事前の質問にも要望にも書きましたが、やっぱり全体会（に質疑の時間を）５分でも１０分でも、もっと欲しいというふうに思います。

それから２点目、この（事前にいただいたご意見・ご質問の）最初の佐藤委員のご意見にも「委員ご指摘のとおり重要な課題であると認識しております。」（と回答がある。）しかし具体的な、あれはないじゃないですか。おかしいです。特別教室への転用や改修等を行ったりって、これが回答ですか。おかしいでしょう。実際、家庭科室がなくなるとか、あるいは図書室が狭くなるとか聞いてます。こんなことおかしいでしょう。早急に増設すればいいだけの話ですよ。そりゃ１年２年じゃ難しいかもしれないけど、区長ぜひともお願いします。

はい、以上です。

○末村区長

ありがとうございます。ご発言くださいまして。

○中事業戦略担当課長

ありがとうございました。

続きまして、最後になりますけども金子議員、須藤議員から一言いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

〇金子議員

皆さん、長時間お疲れ様でございます。毎回、本当にこのお忙しい時間帯に来ていただいて、闊達なご意見発言していただいて本当に頭が下がる思いでございます。

本日も全ての部会を少しずつですが、見学させていただいて、私が思ったところをお話しさせていただきたいと思います。

子育て・教育班に関しましては、先ほども末村区長からも申し上げたとおり、区本体だけでできることはあまりなくて、やはり市の教育委員会と一体となって取り組んでいかなければいけない課題がほとんどかなと思っております。今年、教育・こども委員会という委員会の委員長をさせていただいておりますので、これはしっかりと取り組ませていただきたいなと思っております。文教区で本当にしっかりと進めてきたこの天王寺区ですので、それをどんどん、きちんと皆様に提供できるような、狭隘化とかそういうもので、ご心配いただいているところをきちんと解決していけたらなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。

また、がん検診のことに関してですが、このチラシ、ビラを見ていただいたかもしれないですけど、すごく利点も分かりやすいですし、私も思ったのがこんなに安くやってくれているんだな、というのを感心いたしました。ただ、結果を見てみると、ちょっと受診率が低いのかなというところが残念に思われるところでございますので、なかなかちょっと周知･広報がいけてないのかなという気もしております。ぜひとも、ここは尽力していただけたらと思うところです。

マンションの防災訓練のことに関して、ちらっと先ほどおっしゃっておられたのはやはり子どもたちが来たいと思うような防災訓練をすれば大人もついてくるし、皆さんに参加していただけるのではというお話だったんですけれども、この天王寺区で、防災訓練を踏まえた脱出ゲームというものも実施したことがありまして、非常に応募

も多数で私も参加させていただいたんですけれども、本当に楽しく防災訓練を行うことができたっていう実績もありますので、ぜひとも、これちょっと予算がかかるということで、毎回毎回というわけにはいかないかもしれないですけれども、広げていってもらえたらなと思っております。

全てにおいて情報発信班には関連することだと思うんですけど、やはり大阪市も、区もですが、いろんなコンテンツは用意してあるものの、このがん検診にしてもそうですけれども、なかなか周知・広報活動が苦手というか、なかなか皆さんにお知りおきいただけてなくて、採用していただけてないということが多いのかなと思いますので、そちらのほうは、いつも同じことを申し上げておりますけれども、リーチできるような、皆さんが手の届くようなところに広報活動、周知を徹底していただきたいなと思うところでございます。

皆様、本日はお疲れ様でございました。

○須藤議員

須藤でございます。

どうも皆さん今日はこんばんは、お疲れ様でございます。まずは熊本地震でこの中で直接被災された方はいないと思いますけれども、ご家族の中で、またはお知り合いの中で何かそういうご被害に遭われた方いらっしゃいましたら、本当に心から安全であること、また何も被害がないことを心からお祈りを申し上げます。

この中でタイムリーだったのが、やっぱり防災の話だと思います。一つは六万体町の旧市営住宅跡地ですね。これは金子議員も一緒に動いてくださいまして、また区長も副区長もそして事業戦略の中課長を中心に、アプロさんが前入ってましたよね、あそこら辺が買い物するところがなくなってしまって非常に困ったと。で、高齢者の方もいわゆる城南のほうから上がってくる時、すごい坂があって大変だったりとか、近くのライフが狭隘化していたりということで、改めて今回からプロポーザル公募が出て、そしてその中にはスーパー、生鮮食品売り場を入れるというような形で進んでい

きます。順番に行けば、今年いっぱいで公募が済んで、２年後３年後にはできていくという流れになっていく。この場所が防災拠点としても活動していくということで、いわゆる生鮮食品がありますから、おっしゃっていたようにこのマンション単位で防災物を備蓄するというのは、もちろん重要ですけれども、差異があるので、そこで例えばスーパーのものを地域に提供していくという、そういったことも想定しております。これは本当に天王寺区役所の皆さんが、よくしっかり考えてくださって実現をしたと思いますので、そのことをまず一つご報告を申し上げます。

もう一つが学校の狭隘化ですね。本当に怒るのも無理もないと思います。これってやっぱり１番は地域の人たちや、そこに住んでいる人たち、また子どもを抱えている方々からするともう待ったなしの課題で、もう教室不足になるのはずっと前から分かっていたはずなんですね。何でかって言うと、一応これは説明をしておくと、その人口増っていうのは１歳から１８歳まで普通に縦積みしていきます。要するに、明日すぐに１８歳が増えるわけがないですよね。１７歳の人が１８歳になっていく、５歳の人が６歳になっていく。ただ、ここに対していわゆる他の地域からの居住の変数、例えば居住してくる人、いわゆる転勤してくる人、こういう人たちの変数は基本にあまり含まれてないんです。だから、天王寺区の場合は積み上げていくと教室は何とか足りるだろうという話になるんですけど、この近くにも５５０戸のマンション建ちますが、そこの引っ越してくる人たちの変数があまり重要視されてないので、結果ものすごく後手後手になってしまうということになります。だからといって、これが許されるわけではないので、特に五条と夕中については、第二グラウンドをはじめとした活用、また大江小学校については、四天王寺さんの借地、大江幼稚園が四天王寺さんの借地になっていますけども、これ去年の１０月に借地権３０年延ばしてくれました。なので、これをもって大江幼稚園であったりとか、大江幼稚園を新しくして、その上に教室を建てるとか、そういった方策っていうものが、順次できていくのではないかなと思います。

最後に、外国人児童に対してどのようなアプローチをしていくのかということです。皆さんは外国人の子どもたちが増えていって、コミュニケーションが大変だから、じゃあそれに対する手段、要するに通訳さんとか環境を整えればいいと思いますよね。思うんですが、これをやるとどうなるのかというと、そこがいいからまた外国人が来るんです。この繰り返しのスパイラルが入っちゃう。中国で百度（バイドゥ）っていうサイトが日本のＧｏｏｇｌｅみたいなものです。調べると大阪都心６区、ファミリーに人気なのは天王寺区ですって一番初めに出てくるんですね。それぐらい中国の１０億人の人たちに対して、天王寺区というのは魅力的に見えている。だからそれを逆にどこまでコミュニケーションに対して配慮していくのかっていうのは、やっぱりすごく難しい問題だなと思います。もちろん全ての子たちが平等でいい公平な環境を続ければいいんですけれども、一方で日本の子どもたちの安心安全だったり、教育環境を守っていくというのも非常に重要ですから、そこの塩梅をしっかりと区と教育委員会とまた私たちもしっかりと話していきたいと思いますので、今後また皆さんの意見を聞かせてください。本日はありがとうございました。

〇中事業戦略担当課長

金子議員、須藤議員ありがとうございました。

竹田議長、服部副議長、委員の皆様、多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和８年度第１回天王寺区区政会議を終了いたします。

お帰りの際「資料３　天王寺区区政会議委員評価シート」及び「令和８年度区政会議等に関するアンケート」につきまして、出口のところで回収させていただきますので、ご提出ください。用紙がお手元にない方は、係の者にお申し付けください。

本日ご提出いただけない場合は、８月７日（金）までにお送りいただけましたらありがたいと思います。

本日は、どうもありがとうございました。